

# 積水化学グループにおける 2030年に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)戦略

---

社名	<b>積水化学工業株式会社</b> (SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.)
設立	<b>1947年3月3日</b>
資本金	<b>1,000億円</b>
代表者	<b>代表取締役社長 加藤敬太</b>
従業員数	<b>26,419名</b> (2022年3月末日現在)
売上高	<b>11,579億円</b> (2022年3月期連結ベース)
経常利益	<b>970億円</b> (2022年3月期連結ベース)
本社	<p><b>大阪本社</b> 〒530-8565 大阪市北区西天満2丁目4番4号 06-6365-4110</p> <p><b>東京本社</b> 〒105-8566 東京都港区虎ノ門2丁目10番4号 03-6748-6460</p>
URL	<a href="http://www.sekisui.co.jp/">http://www.sekisui.co.jp/</a>



大阪本社



東京本社

○海外会社合計： 78社

○売上金額： 3,273億円 (海外売上比率 28.3%)

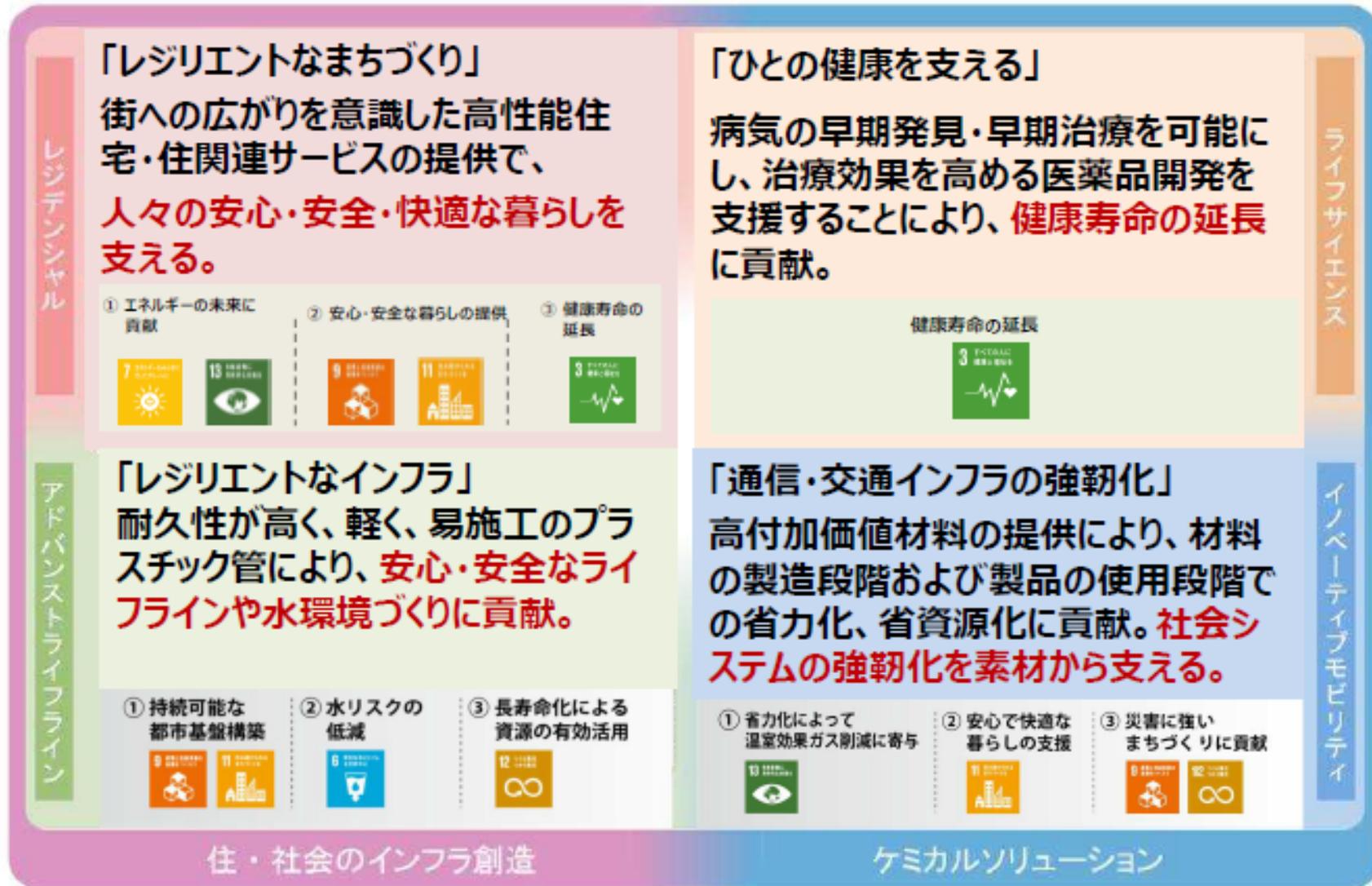
※ 2022年3月期／海外売上高：連結ベース 海外会社数：連結＋非連結ベース

1. 本業を通じた、製品による環境課題解決
2. ものづくりの変革
3. 製品ポートフォリオ変革（に向けた社内施策）

## 4つの事業ドメイン



各事業ドメインが  
社会にもたらす価値



## Vision 2030 Innovation for the Earth

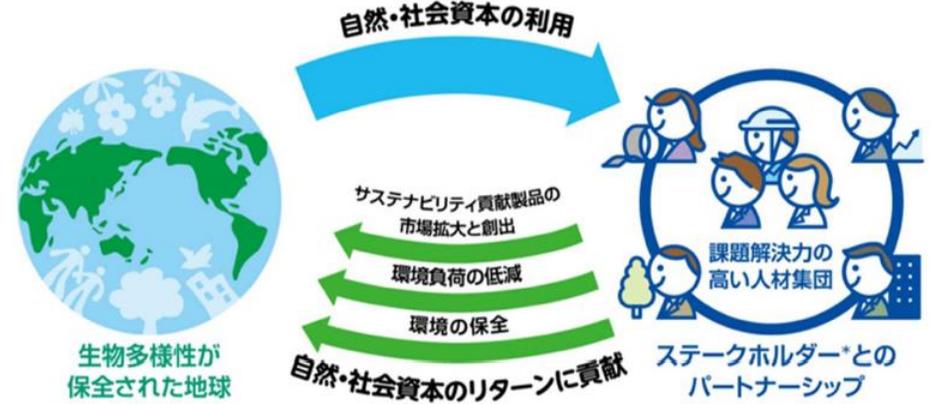
LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します

## 2. ものづくりの変革

環境3課題解決の戦略にもとづいて、2050年長期ゴールからバックキャストしたロードマップを策定して推進



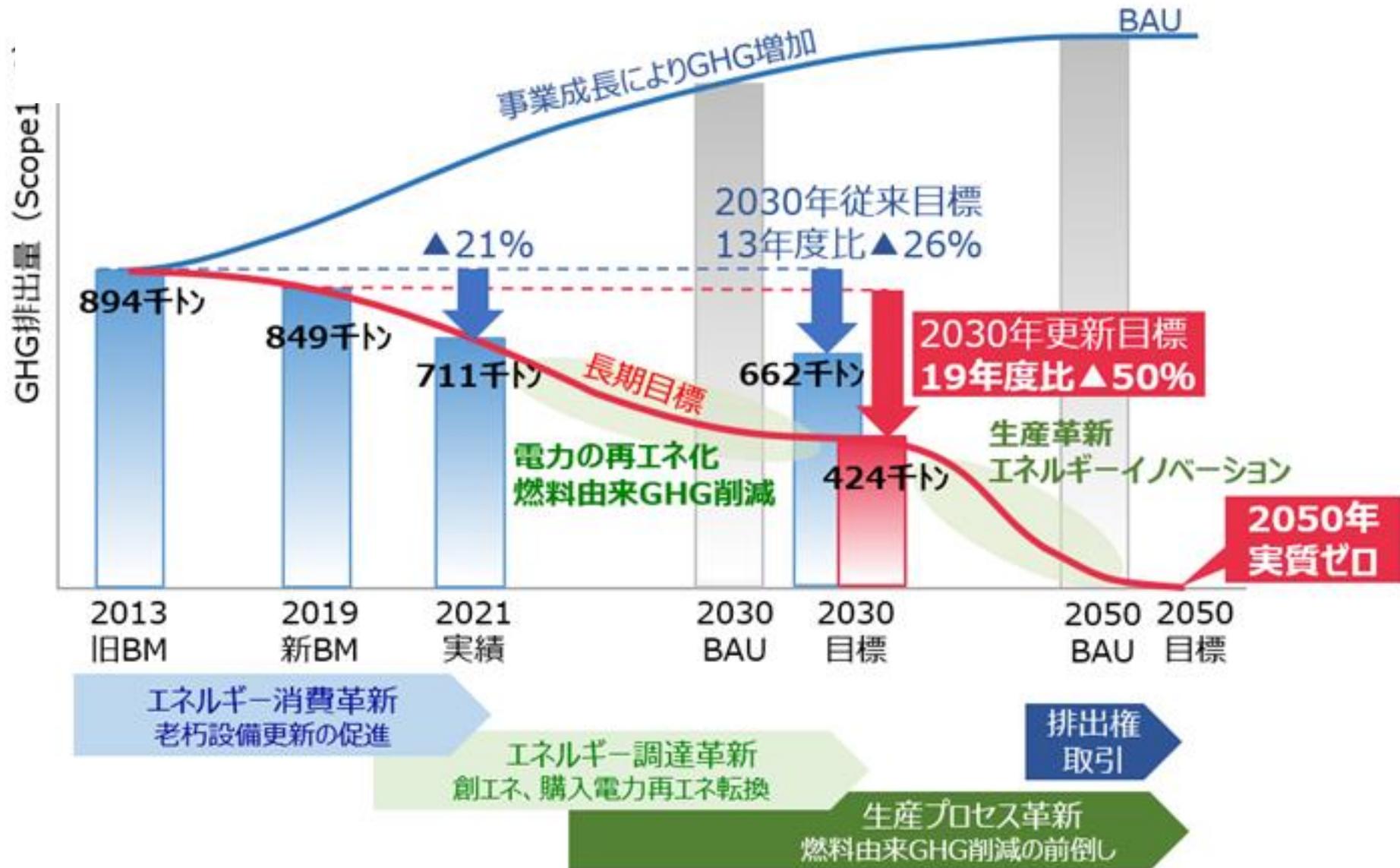
「SEKISUI環境サステナブルビジョン2050」

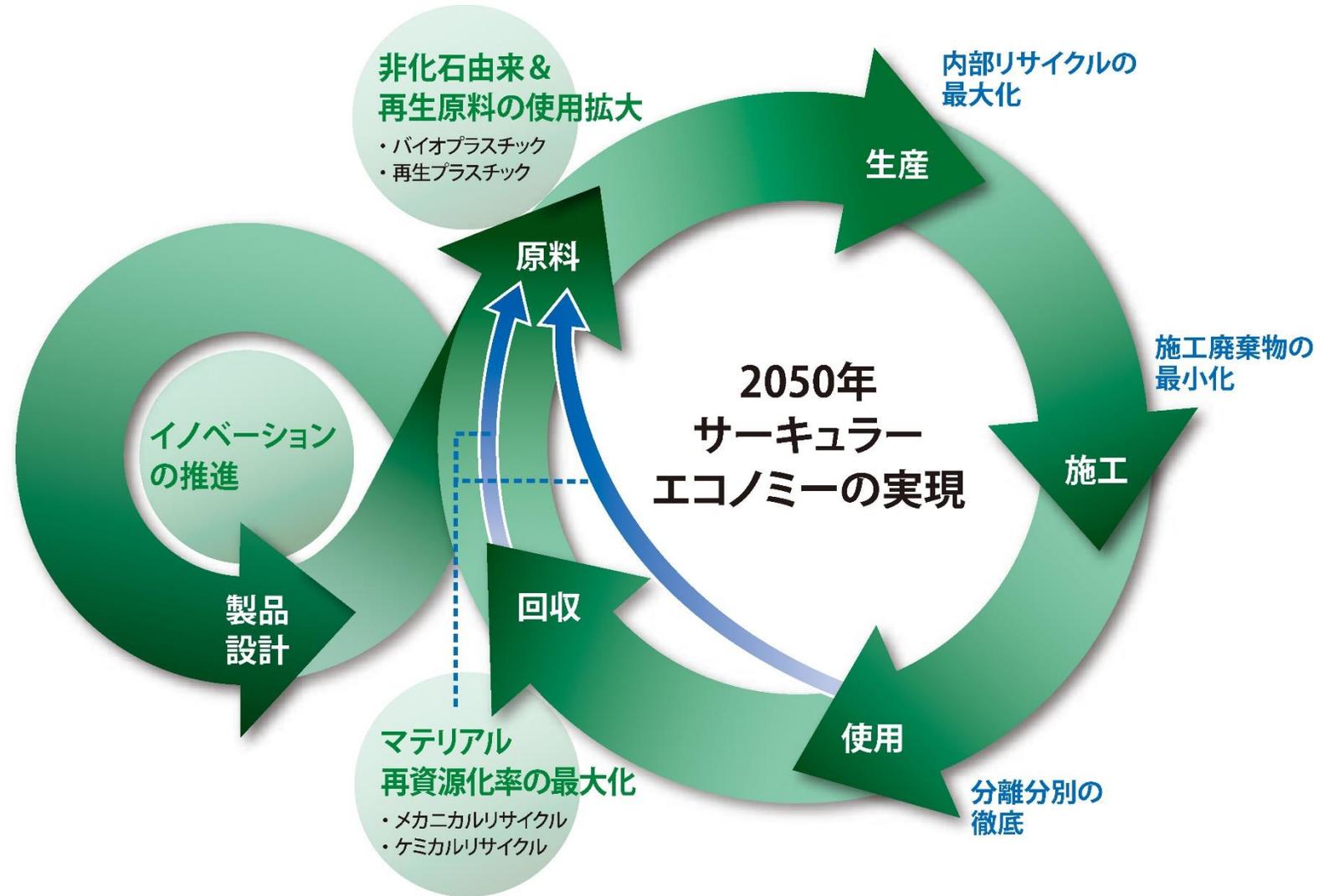


\*ステークホルダー：「お客様」、「株主」、「従業員」、「取引先」、「地域社会・地球環境」

### 環境長期ビジョン

## GHG排出量削減のロードマップ





原料の非化石由来および再生原料への転換、廃棄物のマテリアル再資源化によっても製品や事業の低炭素化は進む

## 変革を後押しするための“サステナビリティ貢献製品”制度

### 2006年制度スタート時点から、要件と運用を目的に応じて進化

お客様の使用時に  
社会課題解決に対して  
貢献度が高い製品

社内基準に基づき  
貢献度の高さを判断し、登録  
(認定審査会)

社外アドバイザリーボードにて  
基準の高さと  
登録の透明性を担保

目標を社会にコミット  
(ステークホルダーへの意思表示、  
従業員への意識啓発)

## 2020年度からの進化



### 基準

→ 課題解決の貢献度を評価

自然環境： 課題の解決方法、用途に応じて貢献レベル判定基準を設定  
社会環境： 従来品、他社品と比較した「際立ち」が必要要件  
供給側、需要側視点での加点点評価

→ ①収益性基準を加えた「プレミアム枠」新設

→ 持続性評価基準を追加  
②内部統制 ③サプライチェーン ④顧客満足度

サステナビリティ貢献製品の売上高、比率拡大 = 製品ポートフォリオ変革 の裏付け

サステナビリティ貢献製品による温室効果ガス削減貢献量拡大 = 社会の便益（脱炭素化）への貢献の裏付け



サステナビリティ貢献製品の売上高推移

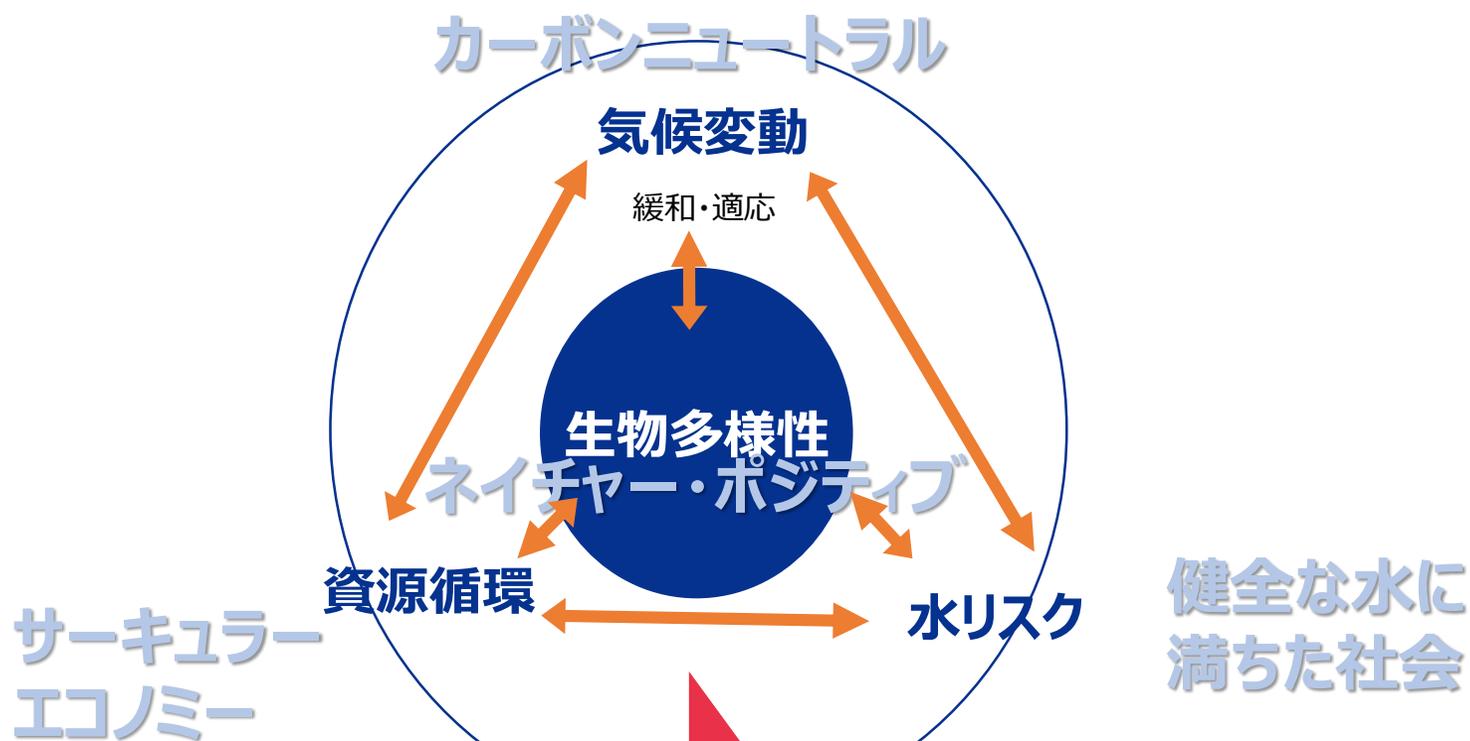


企業活動における温室効果ガス排出量とサステナビリティ貢献製品による削減貢献量



## 環境課題解決の質を向上：環境課題同士の相関を意識した解決

長期（環境ビジョン）を見据えて環境課題同士の相関を認識し、全ての課題にも配慮した解決策によって環境課題を解決し、自然資本(生物多様性)へのインパクトをポジティブな方向に



**G Xでリスクをチャンスに変える**

(イノベーション加速、新ビジネス創出、企業価値向上)

**SEKISUI**